

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成21年10月9日 第29号
浜田市農林業支援センター

はじめに

毎日が秋の収穫で忙しいことと思います。米検査が各地で実施されていますが、日照不足の影響や刈取り時期が早かったことによる未熟米（青粒）が多い傾向にあります。また、早生の品種ではカメムシ被害が見受けられました。果樹に関しては、遅れながらも糖度も上がってきています。体調管理には十分に気を付けて頑張りましょう。
(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

1. 各支援チームからの話題

新規就農支援チーム (担当: ^{まえばら}前原・^{つかもと}塚本)

農業経営継承事業をご存知ですか？

今回は、後継者のいない農家の営農技術や資産（農地・施設）を新たな人材に引き継ぐことを目的とした「**農業経営継承事業**」を紹介します。これは、5年以内に経営を中止して第三者に経営移譲する意思がある農家（移譲農家）と、地域の担い手として新たに就農する意欲のある方（継承希望者）を引き合わせて、スムーズな継承を支援する事業です。全国から登録された「移譲農家」と「継承希望者」をマッチングするだけでなく、栽培技術や経営ノウハウを引き継ぐための実践研修期間中（6ヶ月～1年）には、移譲農家に研修費用の一部が助成されます。興味のある方は、**島根県農業会議**（0852-22-4471）または**当支援センター**（22-3500）にご連絡ください。

認定農業者支援チーム (担当: ^{まつい}松井・^{まえばら}前原)

中間年調査を実施しています



「認定農業者制度」とは、意欲ある農業者が作成した**農業経営改善計画**を市が認定し、その達成に向けた取組を関係機関が支援する仕組みですが、当支援センターでは、認定期間（5年間）の中間年である3年目に**達成状況の聞き取り調査**を実施しています。

今年度は、浜田市内の認定農業者62経営体（10月1日現在）のうち、平成18年度に認定を受けた19の個人と法人を**市・県・JAの担当者**が訪問し、それぞれの成果や課題を共有することで、より効果的な支援に繋がっていきたく考えています。

対象となる皆さんには順次連絡を差し上げますので、調査へのご協力をお願いします。

集落営農組織支援チーム (担当: ^{もりい}森井・^{かまはら}鎌原)

小坂農業生産組合「稲守米」



稲守米のマスコット

今回は、弥栄町の**小坂農業生産組合**を紹介します。平成6年に設立された同組合は、大型機械の共有化や作業の共同化に取り組み、集落内だけでなく近隣集落の作業も受託するとともに、集落全体で県推奨の減農薬・減化学肥料の米づくりを実践するなど、浜田市内の集落営農組織の中でも先進的な活動で知られています。

弥栄町では現在、行政や生産者などが一体となって米のブランド化に取り組んでいますが、同組合も独自のブランド米として、この秋から「**稲守米**」（いもりまい）の販売を開始されました。イモリは環境の良い田だけに生息し、「田を守る」といわれていますが、小坂集落ではどこの田にもたくさんのイモリがいることから、集落の象徴としてこの名前が採用されました。



焼き米イベントの様子

9月13日には「稲守米」のPRを兼ねて、昔ながらの「焼き米」づくりの体験イベントを開催したところ、町内外から消費者など50名が参加され、大いに盛り上がりました。

[小坂農業生産組合のホームページ](http://imorimai.web.fc2.com/yasaka.html)

<http://imorimai.web.fc2.com/yasaka.html>

2. 遊休農機具あつ旋コーナー〔譲ります〕

今回紹介するのは、三菱農機の「**農用さい断機**」(型式:EK-20FA)です。ワラなどを細かく切る機械ですが、5年前まで使っておられ、エンジンもまだまだ動きます。所有されている方から「使ってください方に無償で譲りたい」との申し出をいただきました。

譲り受けたい、現物を見てみたいという方は当支援センターまでご連絡をお願いします。また、**遊休農機具情報は随時募集しています**ので、他人に譲っても良い農機具があればお知らせください。



3. 「有機農業技術等波及講座」のお知らせ

(株)ジャパンバイオフィームの小祝政明 代表取締役を講師に招き、「**有機農業技術等波及講座**」(主催:島根有機農業協会)が開催されます。これは、今年度、西部農林振興センターと当支援センターが実施した「**環境農業実践セミナー**」の継続講座という位置付けで開催されるものです。

第1回は、有機稲作における土づくりと施肥のポイントや、次年度に向けた稲ワラの適正処理などについての講義です。どうぞご参加ください。

第1回講座 日時:10月13日(火) 午前9時~午後3時

会場:弥栄会館(浜田市弥栄町)

第2回講座 日時:11月14日(土) 午前9時~午後3時

会場:弥栄会館(浜田市弥栄町)

4. 「原木乾しいたけ生産講習会」にご参加ください

原木乾しいたけは、自然食品として堅調な需要が見込まれており、県内一の産地である浜田市では、生産量を維持するための体制強化に取り組んでいます。そこで今回、**初心者向け**に「原木乾しいたけ栽培の基礎知識」や「ナラ枯れ被害木のしいたけ原木としての使用条件」をテーマとした講習会を開催します。講義の後には個別相談会も予定していますので、興味のある方はぜひ参加してください。(申し込みは不要です)

日時:10月27日(火) 午後1時30分~4時30分 会場:浜田合同庁舎5階 中会議室

5. 「農業経営者塾」が開催されます

島根県担い手育成総合支援協議会では、農業担い手の経営改善能力の向上を図るため「**農業経営者塾**」を開催します。

ローソンの元社長である都築富士男氏による「儲かる農業に向けた仕組みづくりと課題解決方法」と題した講演、参加者からの質問をもとにした意見交換の二部構成となっています。参加を希望される方は 10月16日(金)までに 当支援センターにご連絡ください。

日時:10月27日(火) 午後1時30分~4時 会場:益田市学習センター(旧 石西県民文化会館)

6. 「西条柿生産組合」の視察研修会が開催されました。

10月1日に、浜田地区と三隅地区の西条柿生産組合が、**合同の先進地視察研修**として出雲市を訪れました。

平田町の生産者園地では、浜田と同様に春先の風害や長梅雨の影響で生理落下が見られたものの、果実の肥大は例年以上との話を伺いました。続いて見学した県農業技術センターの果樹試験圃場では、品種や栽培方法の違いによる樹や果実の成長具合を見比べながら、研究員の説明を受けて有意義な研修となりました。



島根県農業技術センターにて

生産組合が一丸となって生産に取り組む秋の味覚「西条柿」をぜひご賞味ください。

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL:0855-22-3500 FAX:0855-22-3477 E-mail:n-shien@city.hamada.shimane.jp

室谷の棚田
まつり(三隅町)
10/25(日)
開催!